

工 事 名

I 工事概要

1. 工事場所 伊賀市 平田 地内

2. 工事内容 下記の事項に拠る

< 1 - 1 >

機械設備工事: 既設形式便器から非既設形式式便器化。
小便器自動洗浄化、既設手洗い自動水栓化。

上記改修に伴う、付帯工事(トイレブース等)、撤去処分工事

上記に伴う、建築改修工事

上記に伴う、電気改修工事

上記に伴う、機械改修工事

< 2 - 1 >

上記に伴う、廃材処分工事

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」「以下「改修仕」による。
2. 特記仕様
(1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項は、○の付いたものを適用する。
○印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3)特記事項に記載の()内表示番号は建築改修工事標準仕様書の当該箇条は当該表示を示す。

① 適用基準等

② 書類の書式等

③ 図面に對する協議等

④ 工事関係図書

⑤ 工事現場管理

⑥ 施工条件

⑦ 発生材の処理等

⑧ 建築材料等

⑨ 施工中の安全管理

10 施工数量調査

11 調査のための破壊部分の補修

12 技能士

13 化学物質の濃度測定

14 特別な材料の工法

⑩ 騒音・振動の防止

⑪ 排出ガス対策建設機械の使用

⑫ 工事写真

⑬ 完成図

⑭ 完成写真

⑯ 設備工事との取合い

⑰ 養生その他

⑱ 事故報告

2 仮設工事

1 外部足場

2 材料、撤去

3 既存アスファルト等の養生

4 仮設掘削切り

5 監督員事務所

6 監督員事務所の備品等

7 危険物貯蔵所

8 受注者事務所

9 材料倉庫

10 交通誘導員

11 仮設便所

⑭ 工事用水

⑮ 工事用電力

1 改修工法

5 建築具

2 見本の製作

3 ブラインドカーテンボックス等

4 7<-9>製建築具

種別	耐風圧	気密性	水密性	備考
A種	S-4	A-3	W-4	持の見込み寸法 70mm
B種	S-5			
C種	S-6	A-4	W-5	持の見込み寸法 100mm

種類	透音性	種類	断熱性
防音ドアセット		断熱ドアセット	
防音サッシ		断熱サッシ	

種類	室内変形阻特性
耐震ドアセット	

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 (表5.2.2)

種別	表面処理	規格番号	種類
A-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	AA 15
A-2	着色陽極酸化皮膜		
B-1	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H8602	B
B-2	着色陽極酸化塗装複合皮膜		
C-1	無着色陽極酸化皮膜	JIS H8601	AA 6
C-2	着色陽極酸化皮膜		
D	化成皮膜の上に塗装	JIS H4001	

5 網戸

6 網製建具

種類	透音性	種類	断熱性

7 シーリング

6 ① 一般事項

改修部分	改修範囲
天井	図示による
壁	図示による
床	図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部分の天井改修範囲 (6.1.3(a))
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・行方(図示による)
・行わない

② 既存壁撤去

下地補修

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損等による下地モルタルの撤去
行方 行わない
合板樹脂塗り床材の除去等
・機能的除去工法 ・目貫工法
改修後の床の清掃範囲 (6.2.2(a))
※施工範囲及び施工によって汚れた生じた範囲 ・ ()

3 既存壁撤去

下地補修

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造物の補修工法 (図示による)
表面仕上げ ・A種 ※B種 ・C種 (6.5.1(a))
(表6.5.1)

4 木下地等

部材、下地材	種別
構造材、下地材	※A種 ・B種
造作材	※A種 ・B種

MEMO

TITLE 大山田B&G海洋センター便所改修工事

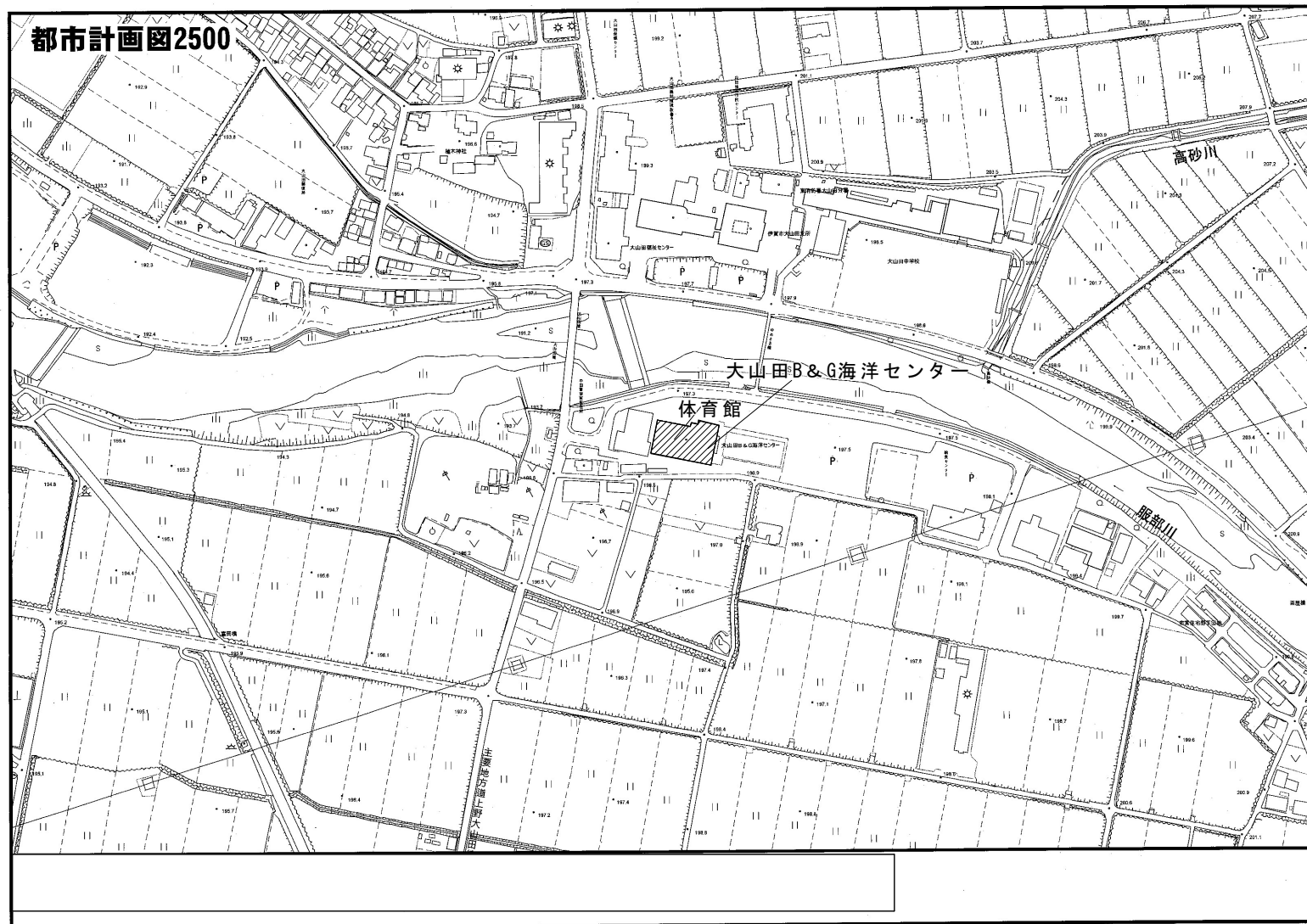
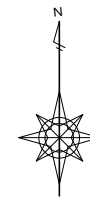
DRAWING 特記仕様書(1)

SCALE No A-01

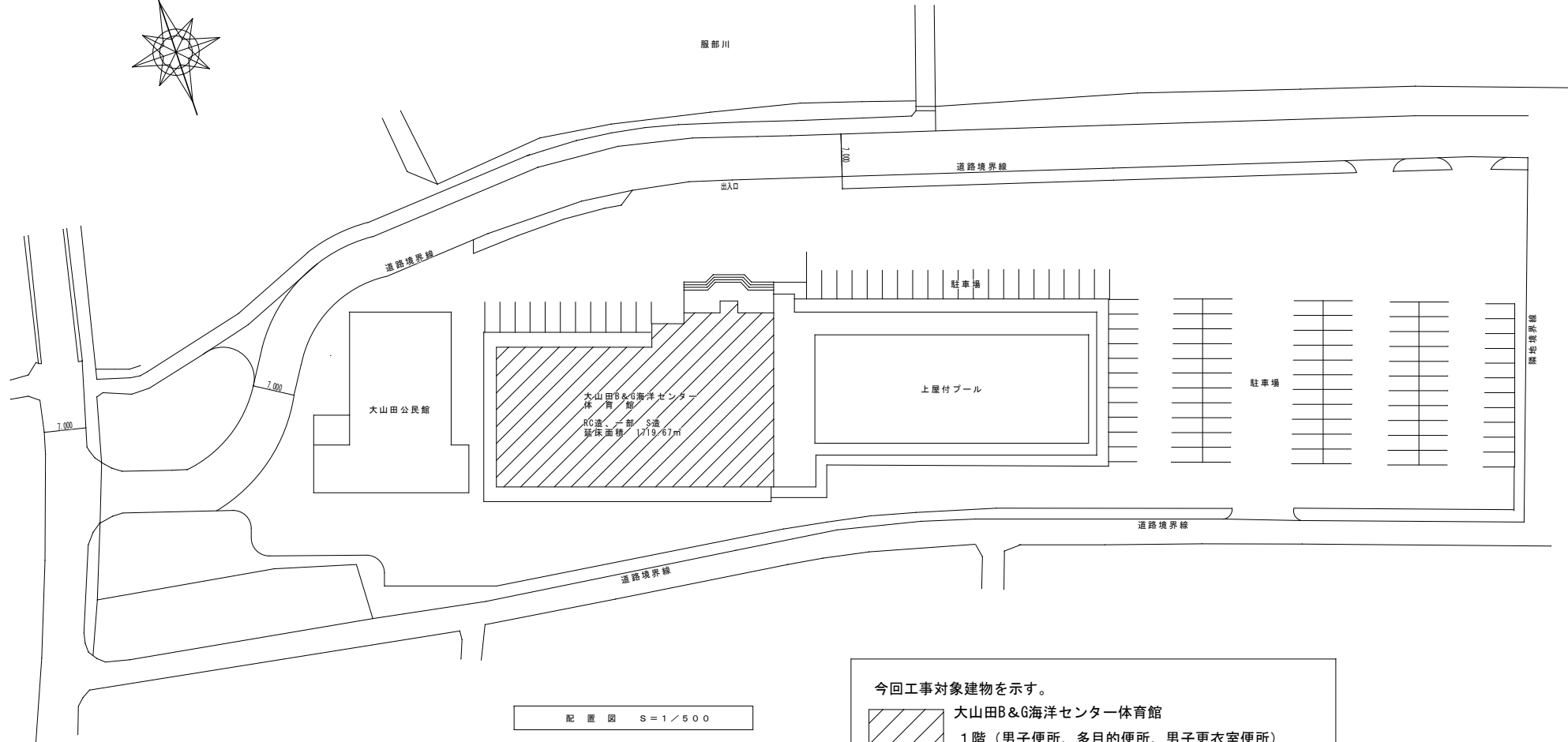
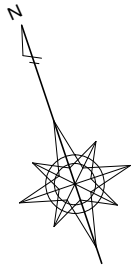
CHECK DATE 2021.10.01

11	カーペット	敷き じゅうたん (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.1)		14	タイル貼り	既成目地材 (6.15.3) ・使用する (形状)				6	アクリル樹脂系 非水分散型塗料	種別 ・A種 ※B種 (7.6.2) (表7.6.1)			9	1	アスベスト含有建材 の処理工事	分析によるアスベスト含有の調査 ・行う (採取箇所 ※箇所) ・事前調査済 (表1.1)					
		種別				品質の程度		伸縮調節目地 (6.16.2) 位置 ◎表示				種別						調査方法 (1材料当たりの試験数) ※定性分析 (※3) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ※定量分析 (※3) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ※定性分析 (※3) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ※定量分析 (※3) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
		・A種				・カットバイル ※人体耐電圧 3KV以下		施工箇所 種別 材質 仕様 品質の程度				種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		・B種				・ループバイル		種別				種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		・C種				・カット、ループ併用		種別				種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		品質の程度欄に記載の商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		タフテッドカーペット (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.2)				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		カットバイル				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		ループバイル				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		いわゆるフック、ループ併用				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		品質の程度欄に記載の商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		ニードルパンチカーペット (6.9.2) (d) (2)				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		厚さ (mm) 帯電性 備考				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					
		※人体耐電圧 3KV以下				種別						種別						分析によるアスベスト含有率測定 (表1.1) (※1) (※2) (※3) (※4) (※5) (※6) (※7) (※8) (※9) (※10) (※11) (※12) (※13) (※14) (※15) (※16) (※17) (※18) (※19) (※20) (※21) (※22) (※23) (※24) (※25) (※26) (※27) (※28) (※29) (※30) (※31) (※32) (※33) (※34) (※35) (※36) (※37) (※38) (※39) (※40) (※41) (※42) (※43) (※44) (※45) (※46) (※47) (※48) (※49) (※50)					


大山田B&G海洋センター



大山田B&G海洋センター

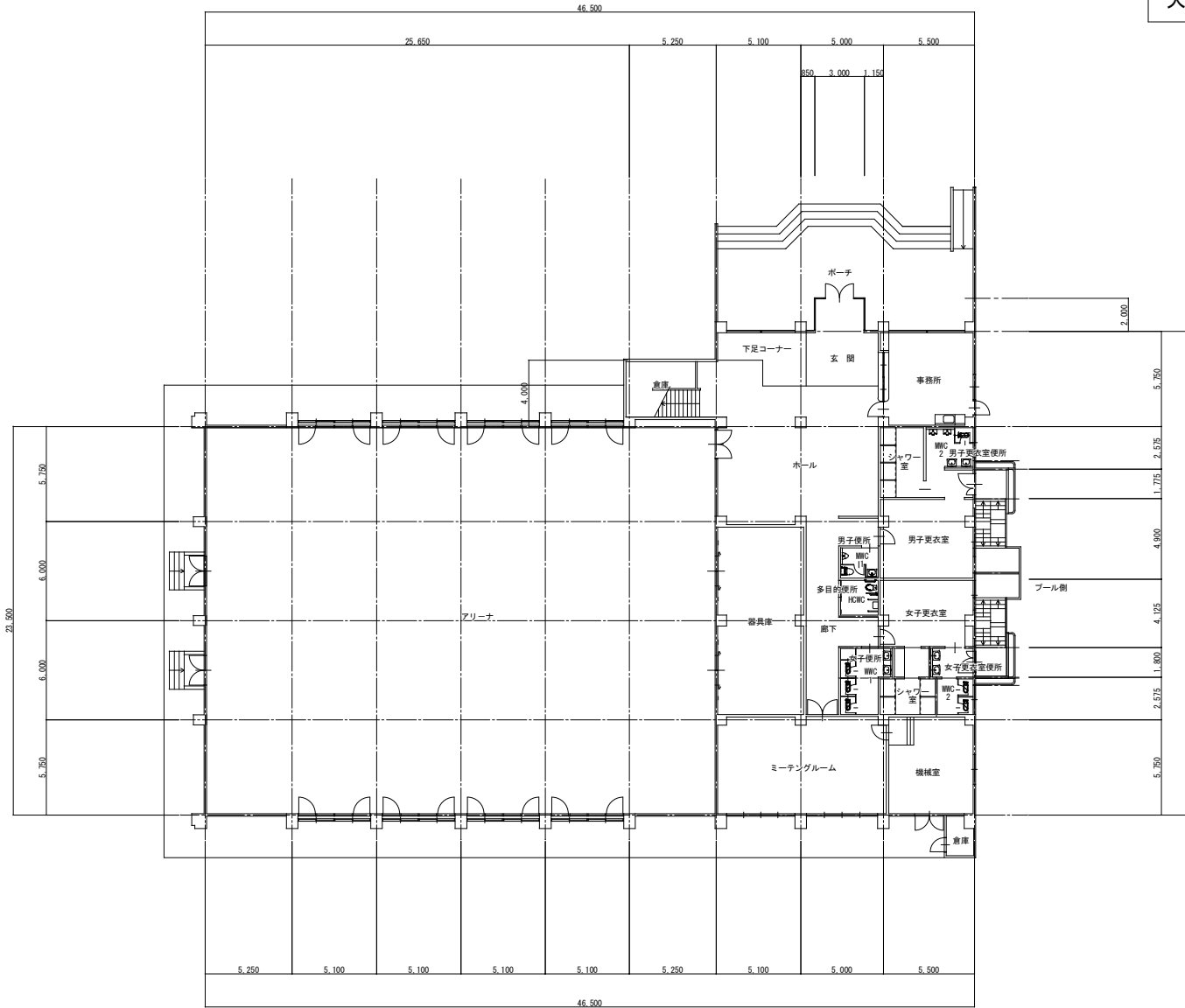


今回工事対象建物を示す。

 大山田B&G海洋センター体育館
 1階（男子便所、多目的便所、男子更衣室便所）
 1階（女子便所、女更衣室便所）

MEMO	TITLE 大山田B&G海洋センター便所改修工事				CHECK	
	DRAWING 配置図	SCALE S=1/500	No. A-04	DATE 2021.10.01		

大山田B&G海洋センター

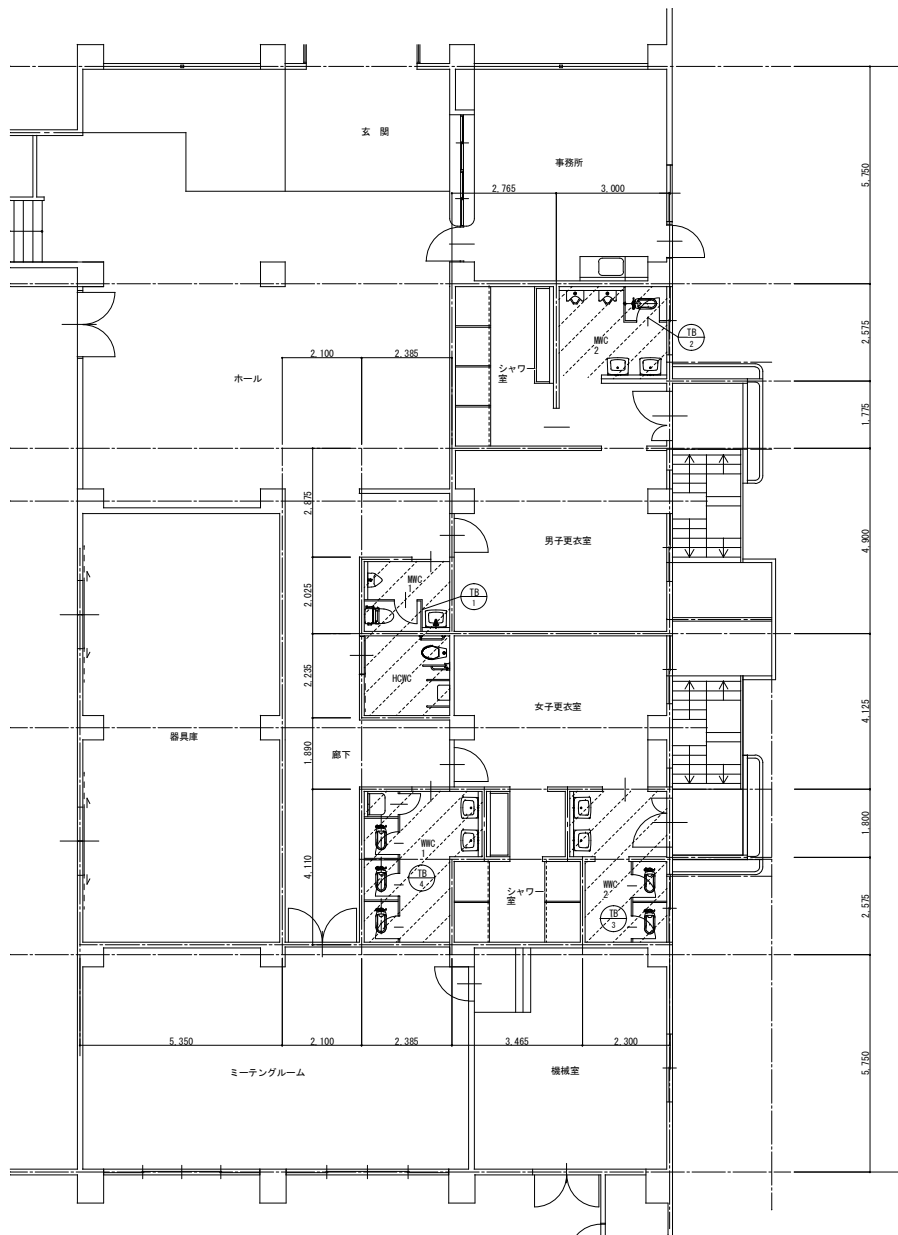


現況平面図 S=1/200

MEMO	TITLE	大山田B&G海洋センター便所改修工事			CHECK	
	DRAWING	大山田B&G 平面図	SCALE	S=1/200	No	A-05
					DATE	

現況

大山田B&G海洋センター



現況 男子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質100角貼り 現状のまま 一部補修
備考	既設トイレース全面撤去

注記)

既設和式便器は全て撤去 → 自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は現状のまま → 自動水栓に取替え
 小便器本体現状のまま → 自動装置付きに取替え

現況 多目的便所 仕上表

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質モザイクタイル100角貼り 補修

注記)

既設洋式便器は全て撤去 → 自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は撤去 → 洗面器新設 自動水栓付に取替え
 既設手すり、精洗機は現状のまま

現況 女子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	塩ビ製
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル仕上 ブース下立上り撤去 既設クッション材全面撤去 和式便器撤去部の 土間はつり工事 (ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度、連結するヶ所は可能な範囲で小規模に留める事。
備考	既設トイレース全面撤去 既設床面トイレース下部の上立り 巾100W20 撤去 注記：掃除機し前半端は現状のままとする。

注記)

既設和式便器は全て撤去 → 自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は現状のまま → 自動水栓に取替え
 既設掃除機しは現状のまま

現況 男子更衣室便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル仕上 ブース下立上り現状のまま 和式便器撤去部の 土間はつり工事 (ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度とする。 既設クッション材再利用目的脱着復旧
備考	既設トイレース全面撤去

注記)

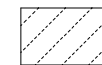
既設和式便器は全て撤去 → 自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は現状のまま → 自動水栓に取替え
 小便器本体現状のまま → 自動装置付きに取替え

現況 女子更衣室便所 仕上表

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	塩ビ製
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル仕上 ブース下立上り現状のまま 和式便器撤去部の 土間はつり工事 (ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度、連結するヶ所は可能な範囲で小規模に留める事。 既設クッション材再利用目的脱着復旧
備考	既設トイレース全面撤去

注記)

既設和式便器は全て撤去 → 自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は現状のまま → 自動水栓に取替え



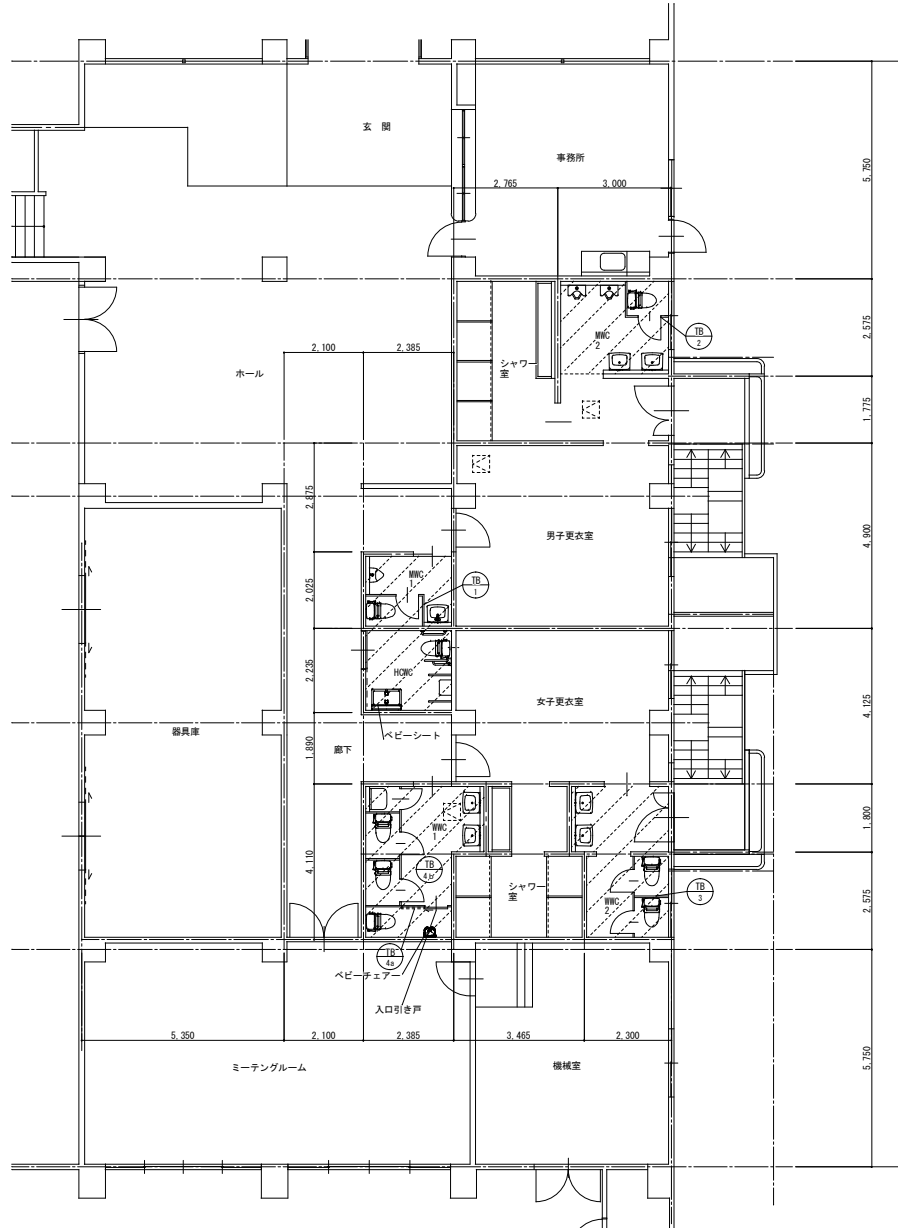
今回工事対象の
便所のヶ所を示す。

現況平面図 S=1/100

MEMO	TITLE	大山田B&G海洋センター便所改修工事			CHECK	
	DRAWING	大山田B&G 平面図 (現況)	SCALE	S=1/100	No	A-06
					DATE	

改修後

大山田B&G海洋センター



改修後 男子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま
廻縁	なし	
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
床	モルタル下地、磁器質100角貼り	現状のまま 一部補修
備考	トイレブース 全面新設	壁取り合いシーリング

注記)
 既設洋式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は現状のまま一 自動水洗に取替え
 小便器本体現状のまま 一自動装置付きに取替え
 ※その他 附属品は設備工事(器具表)による

改修後 多目的便所 仕上表

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま
廻縁	なし	
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
床	モルタル下地、磁器質100角貼り	現状のまま 一部補修

注記)
 既設洋式便器は全て撤去 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は撤去一 洗面器新設 自動水栓付に取替え
 既設手すり、傾斜鏡は現状のまま
 ※その他 附属品は設備工事(器具表)による

改修後 女子便所 仕上表

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま
廻縁	塩ビ製	
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
床	モルタル下地、磁器質100角タイル貼り(全面新設 水勾配有り) 和式便器撤去後の 土間コンクリート新設(ヶ所は設備図による) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100	
備考	トイレブース 全面新設	壁取り合いシーリング

注記)
 既設和式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は現状のまま一 自動水洗に取替え
 ※その他 附属品は設備図による

改修後 男子更衣室便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま
廻縁	なし	
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
床	ブース内モルタル仕上復旧その他現状のまま 既設クッション材再利用 和式便器撤去後の 土間コンクリート新設(ヶ所は設備図による) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100	
備考	トイレブース 全面新設	壁取り合いシーリング

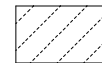
注記)
 既設洋式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は現状のまま一 自動水栓に取替え
 小便器本体現状のまま 一自動装置付きに取替え
 ※その他 附属品は設備工事(器具表)による

改修後 女子更衣室便所 仕上表

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6	現状のまま
廻縁	塩ビ製	
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル	現状のまま
床	ブース内モルタル仕上復旧その他現状のまま 既設クッション材再利用 和式便器撤去後の 土間コンクリート新設(ヶ所は設備図による) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100	
備考	トイレブース 全面新設	壁取り合いシーリング

注記)
 既設洋式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
 既設洗面器本体は現状のまま一 自動水栓に取替え
 ※その他 附属品は設備工事(器具表)による

※天井点検口 アル製450角 3ヶ所



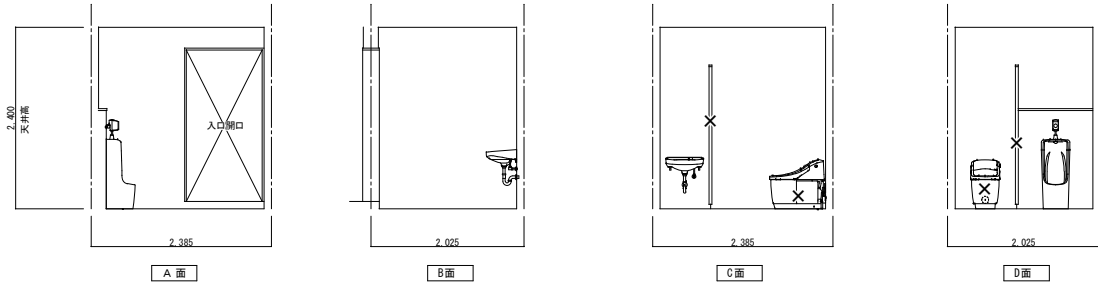
今回工事対象の
便所のヶ所を示す。

改修後 平面図 S=1/100

MEMO	TITLE	大山田B&G海洋センター便所改修工事			CHECK	
	DRAWING	大山田B&G 平面図(改修後)			SCALE	S=1/100
		No	A-07		DATE	

大山田B&G海洋センター

(現況) 男子便所 展開図 S=1/50



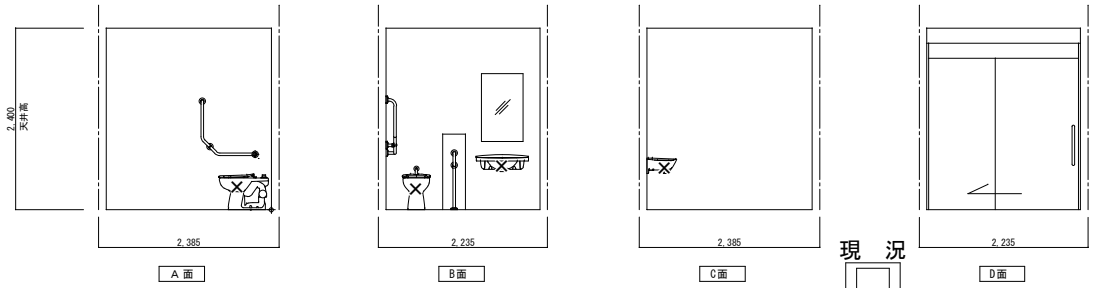
現況 男子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質100角貼り 現状のまま 一部貼替
備考	既設トイレブース全面撤去

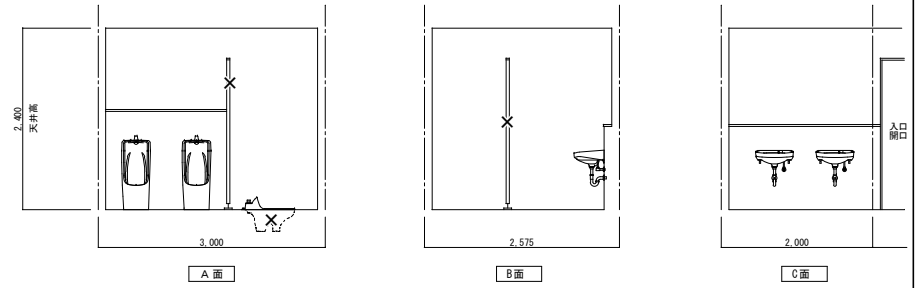
現況 男子更衣室便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル上地 ブース下立上り現状のまま 和式便器撤去部の 土間はつり工事 (ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度とする。 既設クッション材再利用目的敷着復旧
備考	既設トイレブース全面撤去

(現況) 多目的便所 展開図 S=1/50



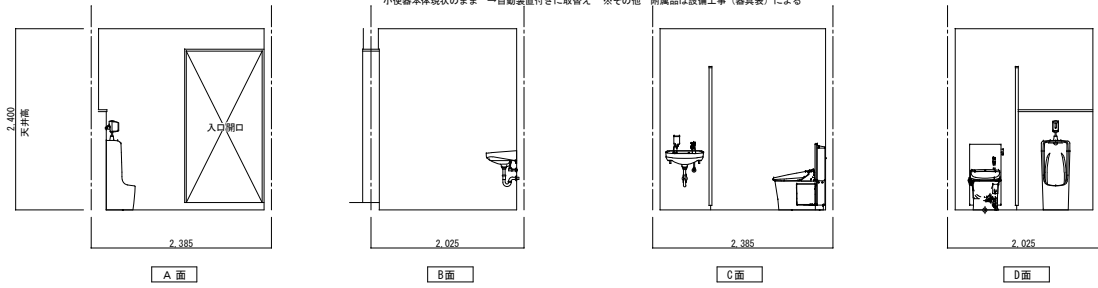
(現況) 男子更衣室便所 展開図 S=1/50



現況
↓
改修後

(改修後) 男子便所 展開図 S=1/50

注記)
既設洋式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
既設洗面器本体は現状のまま一自動水洗に取替え
小便器本体現状のまま 一自動装置付きに取替え ※その他 附属品は設備工事 (器具表) による



改修後 男子便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質100角貼り 現状のまま 一部貼替
備考	トイレブース 全面新設

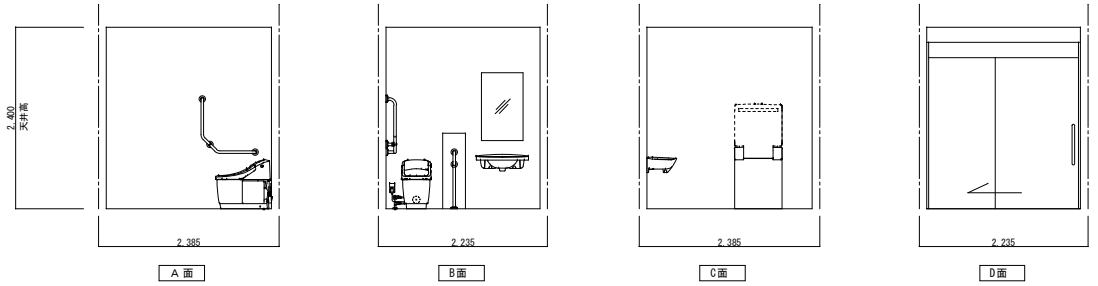
改修後 男子更衣室便所 仕上表 ※図中に特記なき限り下記とする。

天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	なし
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	ブース内モルタル仕上復旧その他現状のまま 既設クッション材再利用 和式便器撤去後の 土間コンクリート新設 (ヶ所は平面図による) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100
備考	トイレブース 全面新設 通気管 (鋼管) SOP造替

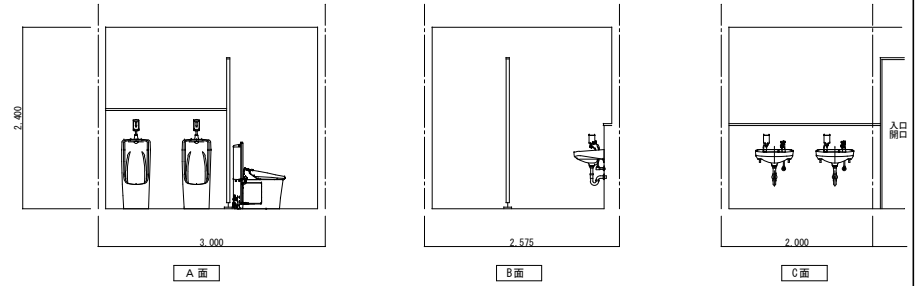
注記)
既設洋式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
既設洗面器本体は現状のまま一自動水洗に取替え
小便器本体現状のまま 一自動装置付きに取替え
※その他 附属品は設備工事 (器具表) による

(改修後) 多目的便所 展開図 S=1/50

注記)
既設洋式便器は全て撤去 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え 既設手すり、、傾斜線は現状のまま
既設洗面器本体は撤去一洗面器新設 自動水洗付に取替え ※その他 附属品は設備工事 (器具表) による

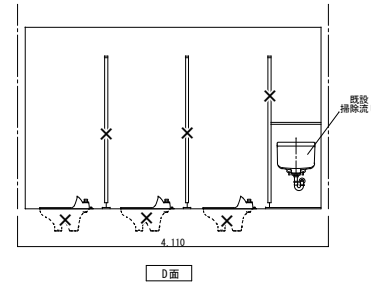
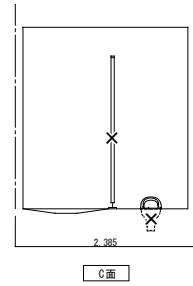
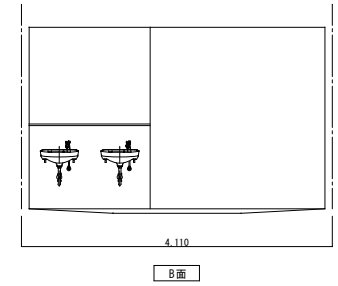
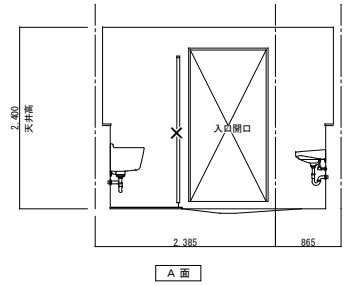


(改修後) 男子更衣室便所 展開図 S=1/50



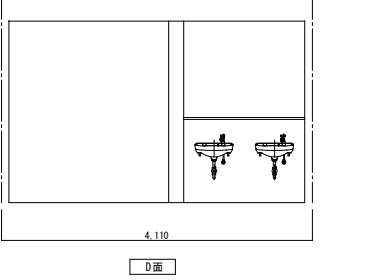
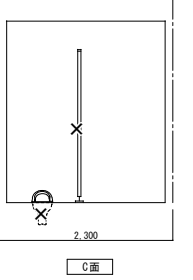
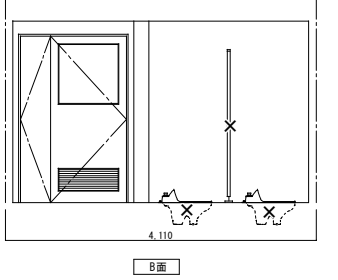
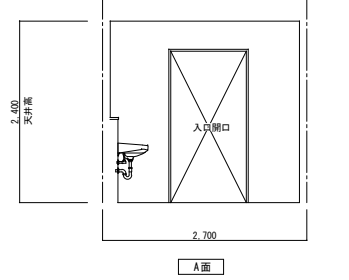
大山田B&G海洋センター

(現況) 女子便所 展開図 S=1/50



天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	塩ビ製
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル仕上 ブース下立上り撤去 既設クッション材全面撤去 和式便器撤去部の 土間はつり工事 (ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度、連結するヶ所は可能な範囲で小規模に留める事。
備考	既設トイレブース全面撤去 既設床面トイレブース下部の立上り 巾1000 撤去 注記: 掃除流し前半端は現状のままでとする。

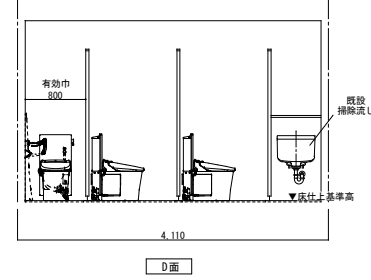
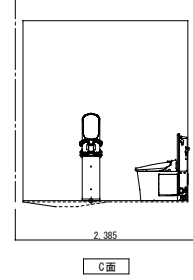
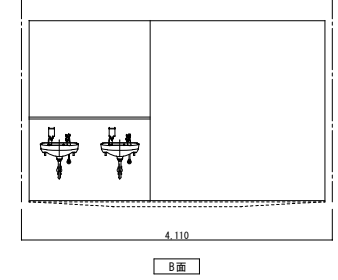
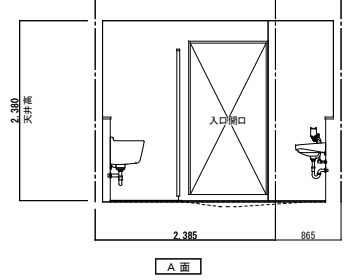
(現況) 女子更衣室便所 展開図 S=1/50



天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	塩ビ製
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル仕上 ブース下立上り現状のまま 和式便器撤去部の 土間はつり工事 (ヶ所、範囲は設備図による) ※土間はつり範囲は1ヶ所 800×1000程度、連結するヶ所は可能な範囲で小規模に留める事。 既設クッション材再利用目的脱着復旧
備考	既設トイレブース全面撤去

現況
↓
改修後

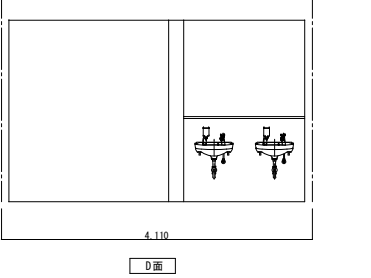
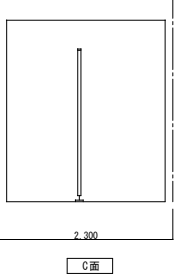
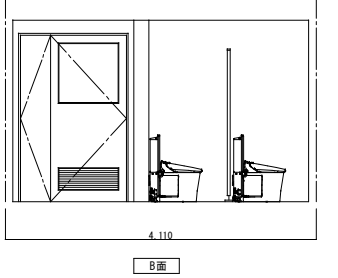
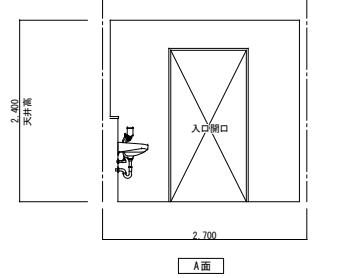
(改修後) 女子便所 展開図 S=1/50



天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	塩ビ製
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	モルタル下地、磁器質100角タイル貼り (全面新設 水勾配有り) 和式便器撤去後の 土間コンクリート新設 (ヶ所は平面図による) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100
備考	トイレブース 全面新設 通気管 (鋼管) SOP塗装 注記: 掃除流し前既設平面面を タイル仕上天井とする。

注記)
既設和式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
既設洗面器本体は現状のまま→ 自動水洗に取替え
※その他 附属品は設備図による

(改修後) 女子更衣室便所 展開図 S=1/50



天井	LGS下地、ケイカル板 t=6 現状のまま
廻縁	塩ビ製
壁	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
巾木	モルタル下地、半磁器質100角タイル 現状のまま
床	ブース内モルタル仕上撤旧その他現状のまま 既設クッション材再利用 和式便器撤去後の 土間コンクリート新設 (ヶ所は平面図による) 土間コン厚100鉄筋D10@200タテヨコシングル 砕石厚100
備考	トイレブース 全面新設

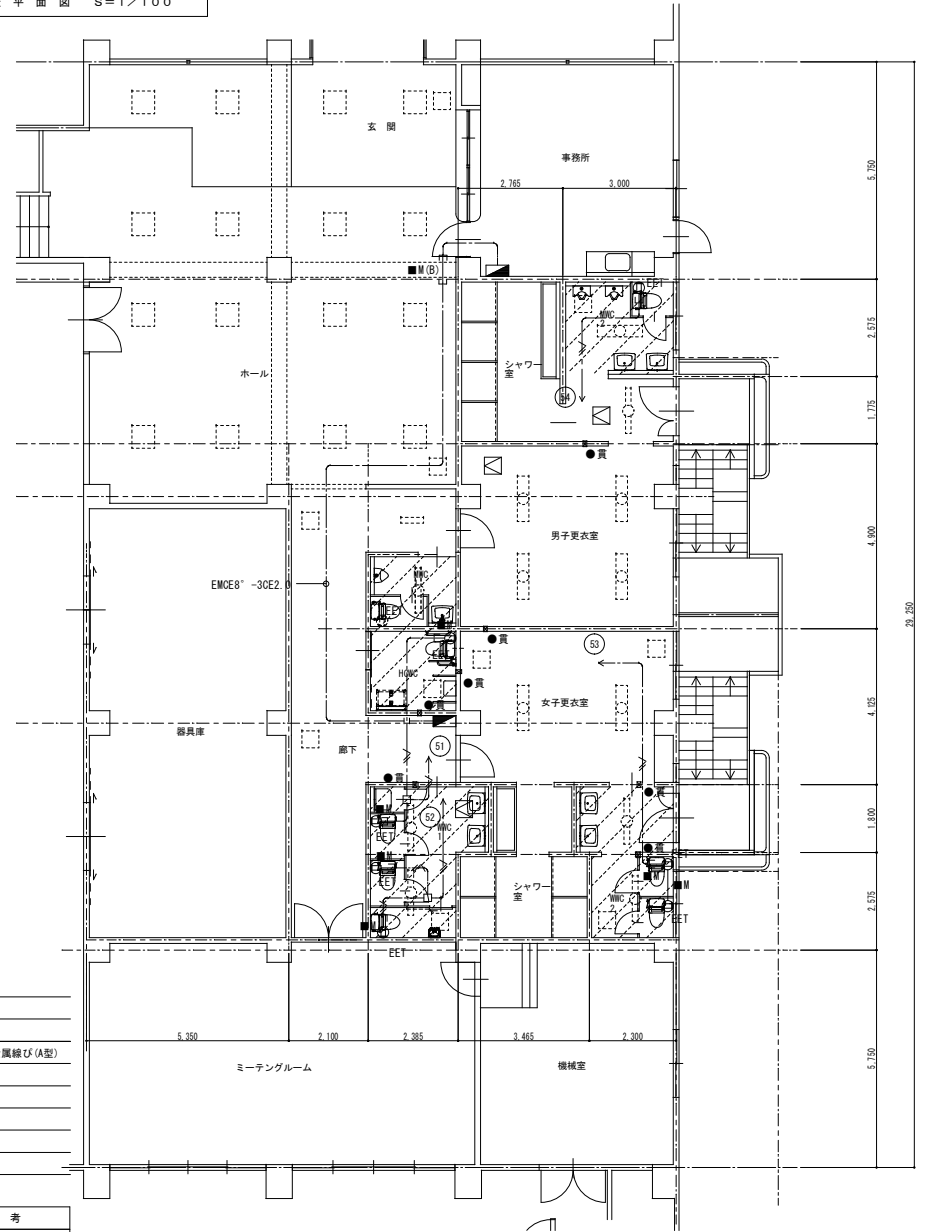
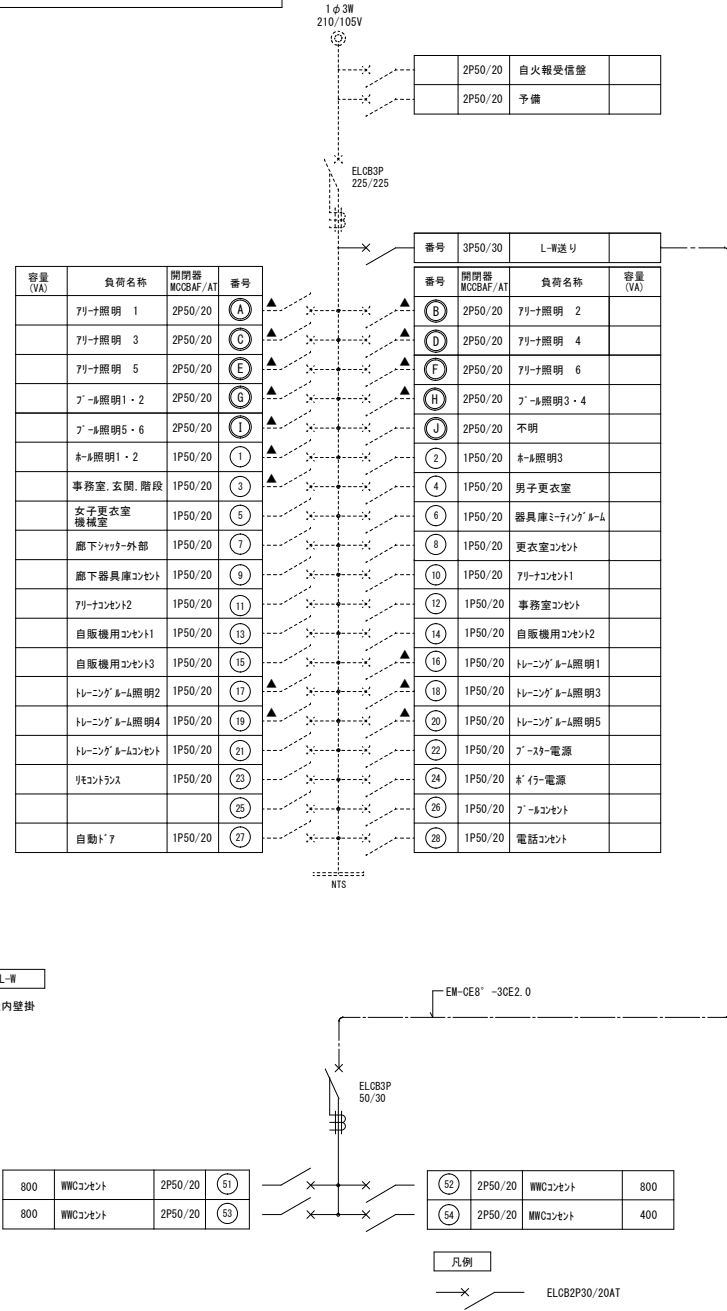
注記)
既設洋式便器は撤去後 一自動洗浄装置付洋式便器に取替え
既設洗面器本体は現状のまま→ 自動水洗に取替え
※その他 附属品は設備工事 (器具表) による

建 具 表 S = 1 / 5 0

記号・数量	TB-1 MWC1 1ヶ所	TB-2 MWC2 1ヶ所
写真		
建具	トイレブース (サポートタイプ)	トイレブース (サポートタイプ)
硝子		
備考	ポリ合板フラッシュ	メラミン化粧合板
金物	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け S U S あたさま製ぎ、付属金物一式	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け S U S あたさま製ぎ、付属金物一式
見込	40	40
記号・数量	TB-3 MWC2 1ヶ所	TB-4 MWC1 1ヶ所 TB-4 a 1ヶ所 TB-4 b 1ヶ所
写真		
建具	トイレブース (サポートタイプ)	トイレブース (サポートタイプ)
硝子		
備考	ポリ合板フラッシュ	メラミン化粧合板 (吊下げ式自閉装置内蔵)
金物	ラバートリーヒンジ、表示錠付ラッチ錠、ラバートリーストライク、戸当り兼用帽子掛け S U S あたさま製ぎ、付属金物一式	表示錠付サムターン、戸当り兼用帽子掛け、レール、引手 S U S あたさま製ぎ、付属金物一式
見込	40	40

大山田B&G海洋センター

改修後平面図 S=1/100



注記)

- 1・特記なき配管配線は下記による。
 - EM-EEF2 0-3C (1C-E)
 - EM-EEF2 0-3C (1C-E) 立上げ1種金属線び(A型)
- 破線表記は既設機器配線を示す。
- 天井内ころがし配線とする。
- 印部=コンクリート壁貫通箇所を示す。

凡例

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	既設分電盤
○	照明器具 直線型	既設
⊕	壁付コンセント 2P15Ax1, 接地極, 接地端子付	
□	ジョイントボックス	VA用
⊠	天井点検口	建築工事

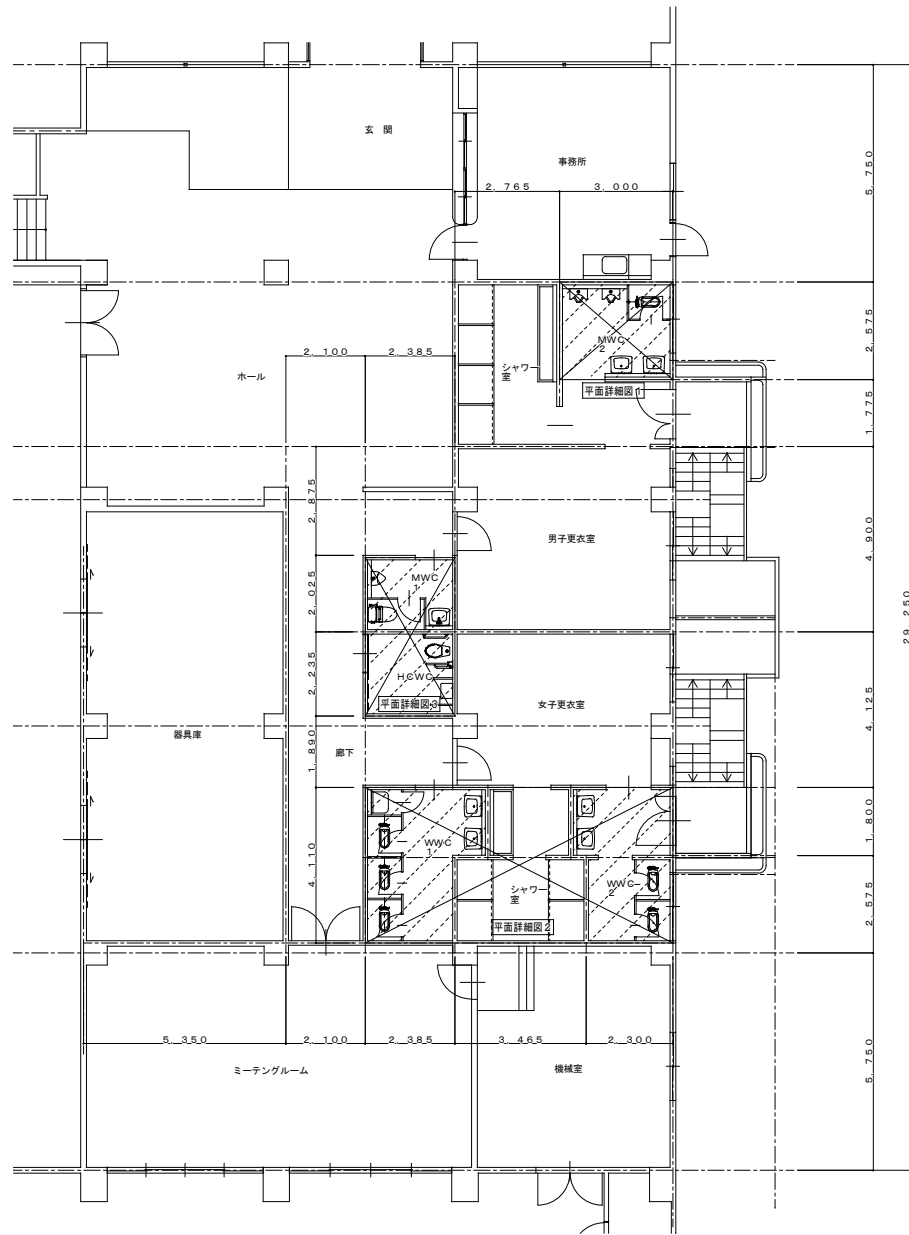
大山田B&G海洋センター

図示記号	
記号	名称
———	給水管
———	排水管
-----	通気管
□	給水栓
◎	排水金物
○ ⊕	床上掃除口

衛生器具表

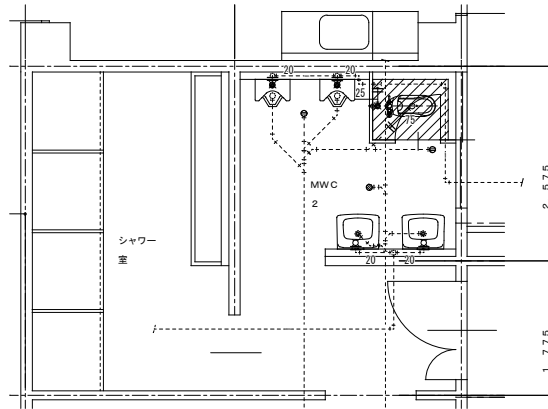
名称	参考品番	付属品	B & G					
			男子便所	男子更衣室便所	多目的便所	女子便所	女子更衣室便所	
	上段: TOTO 下段: LIXIL		MWC1	MWC2	HWC	WWC1	WWC2	
洋風便器 ① リモデル	CFS498BM BC-P110H	TCF5524AE (ウォシュレット 手かざし洗浄) DQ-PA150CH (ロ-タンク), CW-PA11FL-NE (ウォシュレット), 322-1165-880, A-10476, CWA-278, CF-020SET, CF-200S	1	1		3	2	
棚付2連紙巻器	YH650 CF-AA64		1	1	1	3	2	
小便器自動洗浄	TEA61DS OK-100SET	(乾電池式) T62-16	1	2				
洗面用自動単水栓	TENA40AW AM-300C	(発電式) TN74-2R (既設取替用脚) TN65LX40 (フレキ管) 発電式	1	2		2	2	
ベビーチェア	YKA15S AC-BK-F62					1		
ベビーシート	YKA25S AC-OK-F11				1			
横水栓	T28AKUH13 LF-15G-13-CV		1	1	1	1	1	
便座クリーナー用 ディスプレイセンサー	SC-460		1	1	1	3	2	
多目的便器 リモデル	CS597BMS BC-P110H	SH596BAR, TCF5524AEP (ウォシュレット 手かざし洗浄 フタ無し) DQ-PA150CH, CW-PA11FL-NECK (ウォシュレット フタ無し), CWA278 (手かざしスイッチ), CF-020SET, 322-1165-880, A-10476, CF-200S			1			
単いす用洗面器	L103DMP L-365APRS	TENA40AW (発電用自動単水栓), TLDS2206J, TL220D, TS126AR (水石けん入) AM-300C (発電用自動単水栓), LF-96PA, SF-10E, KF-24F (水石けん入)			1			
水石けん入れ	TS126AR KF-24F		1					

MEMO	TITLE 大山田B&G海洋センター便所改修工事			CHECK	
	DRAWING 器具表	SCALE SN	No M-2	DATE	



現況平面図 S=1/100

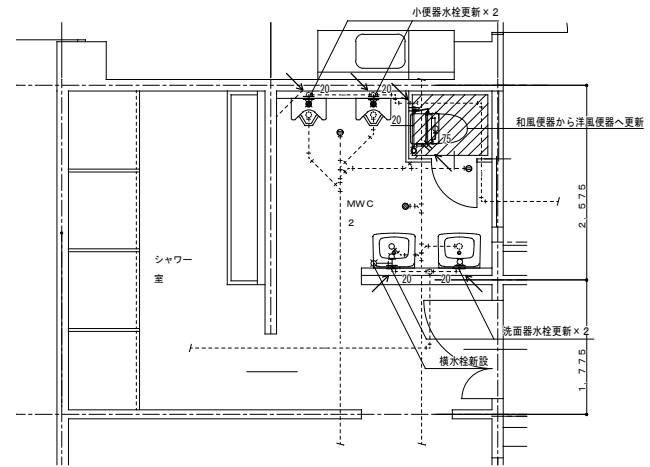
MEMO	TITLE 大山田B & G海洋センター便所改修工事			CHECK	
	DRAWING 平面図	SCALE S=1/100	No M-3	DATE	



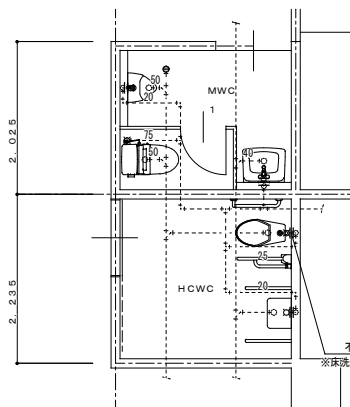
現状平面詳細図 1 S = 1 / 50

男子更衣室便所
MWC 2 既存機器表

和風便器	フリップ	1	撤去
紙巻器		1	撤去
小便器水栓		2	撤去
洗面器水栓		2	撤去



改修後平面詳細図 1 S = 1 / 50



現状平面詳細図 3 S = 1 / 50

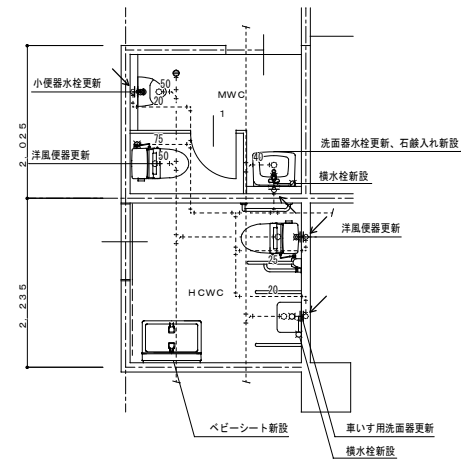
男子便所
MWC 1 既存機器表

洋風便器		1	撤去
紙巻器		1	撤去
小便器水栓		1	撤去
洗面器水栓		1	撤去

多目的便所
HCWC 既存機器表

洋風便器		1	撤去
紙巻器		1	撤去
洗面器		1	撤去

不要配管跡は化粧プラグにて閉塞処理
※床洗浄ポタンは撤去の上化粧プラグにて閉塞処理



改修後平面詳細図 3 S = 1 / 50

凡例

既設配管を示す (撤去)	——
既設配管を示す (残置)	-----
既設配管切断箇所を示す	=
土間新り範囲を示す (建築工事)	▨

※既設配管跡は、化粧プラグにて閉塞処理を行う
※器具取付ビス後の補修を行う事 (シ-4補修程度)

凡例

新設配管を示す	——
既設配管を示す	-----
既設配管切断箇所を示す	——>

MEMO

TITLE 大山田B&G海洋センター便所改修工事

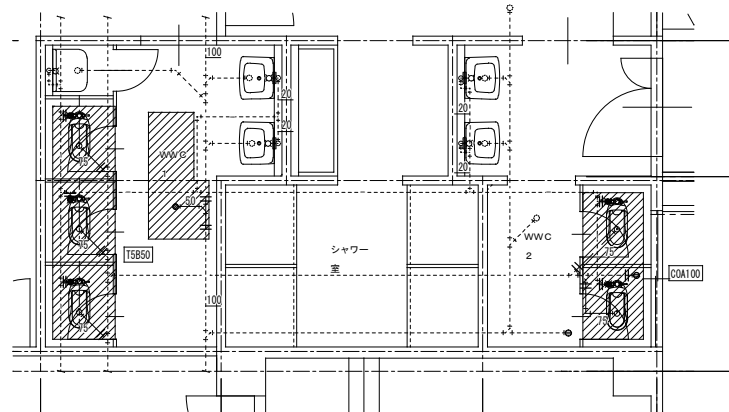
DRAWING 平面詳細図 1・3 (給排水衛生設備)

SCALE S = 1 / 50

No M-4

CHECK

DATE



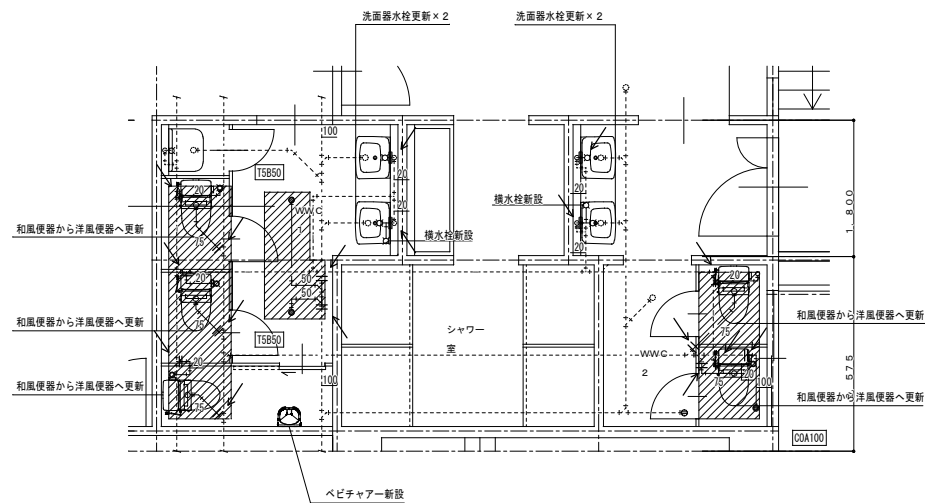
現状平面図2 S = 1 / 50

女子便所			
WWC 1 既存機器表			
和風便器	757721	3	撤去
紙巻器		3	撤去
洗面器水栓		2	撤去

女子更衣室便所			
WWC 2 既存機器表			
和風便器	757721	2	撤去
紙巻器		2	撤去
洗面器水栓		2	撤去

凡例	
既設配管を示す (撤去)	———
既設配管を示す (残置)	-----
既設配管切断箇所を示す	=
土間研り範囲を示す (建築工事)	▨

※既設配管跡は、化粧プラグにて閉塞処理を行う
 ※器具取付ビス後の補修を行う事 (シム補修程度)



改修後平面図2 S = 1 / 50

凡例	
新設配管を示す	———
既設配管を示す	-----
既設配管切断箇所を示す	→

MEMO

TITLE 大山田B&G海洋センター便所改修工事

DRAWING 平面詳細図2 (給排水衛生設備)

SCALE S = 1 / 50

No M-5

CHECK

DATE